

総勢250名の出演！

三楽団合同演奏会

出演 ○東京労音吹奏楽団

指揮 斎藤好司

○東京労音新交響楽団（第一）

指揮 芥川也寸志

○東京労音新交響楽団（第二）

指揮 諸井昭二

11月30日（木）P.M 6.30分開演

日本青年館（神宮外苑）

会費 150円

プログラム

第一部 東京労音吹奏楽団演奏

指揮 斎藤好司

- イ. 交響曲フィランディア…………シベリウス
- ロ. ジュビリー行進曲…………ゴールドマン
- ハ. 序曲 山の偉容…………ポール・ヨーダー
- ニ. ウェスターナ…………ワルター
- ホ. ラッパ吹きの日…………ルイ・アンダーソン
- ヘ. 南太平洋…………ロジャース

第二部 東京労音新交響楽団（第一）演奏

指揮 芥川也寸志

- イ. 交響曲第五番「新世界」……ドボルザーク

第三部 東京労音新交響楽団（第二）演奏

指揮 諸井昭二

- イ. コリオラン序曲…………ベートーベン
- ロ. 交響曲第五番「運命」…………ベートーベン

写真説明

上 斎藤好司
東京労音吹奏楽団
中 芥川也寸志
東京労音新交響楽団（第一）
下 諸井昭二
東京労音新交響楽団（第二）



出演者の紹介

芥川也寸志さんのこと

諸井 昭二

夜の10時半、フジTVを通して話しかける芥川さん、月曜の「日本のうた」のひとつ。いつ会っても、いつ見ても、芥川さんの顔は余り変わらない。同じ人だから変わらないのが当たり前と思うだろうが、決してそうでない。彼は余りきどらない。いってみれば常に素顔という訳である。相手が誰でも、気軽に話しかける。例の調子で、片っ方の眉をあげてニヤッと笑う。髪の毛をかきあげる。だが、変わらないのはその感じであって、表情ではない。ニヤツの途端に、すごく澄ました顔にもなる。その変化のテンポは、逆に大変激しい。とても追いつけない。芥川さんの本当の素顔は……？ 彼はきっと云う、「そんなものないよ」。彼の音楽が、その答かもしれない。(指揮者)

諸井昭二さんのこと

昭和9年1月13日 東京生。

昭和23年より音楽活動をはじめ、合唱指揮と続けている。昭和32年、作曲家グループ「青年の会」に入り、作曲活動が続けている。

ピアノ原智恵子、作曲池内友次郎、指揮前田幸市郎に師事、現在、映画、テレビ音楽の作曲、アマチュアオーケストラ、合唱の指揮を続けている。

作品、混声合唱のための幻想曲「カンナ」ピアノの為の組曲、他。

斎藤好司さんのこと

労音吹奏楽団指揮

氏は昭和33年早稲田大学教育学部を卒業され、早大交響楽団のホルン主席奏者としてアマチュア音楽界で活躍されました。

吹奏楽法、指揮を萩原庸禎氏に、フレンチホルンを佐久間柳一氏に、ピアノを石川良哉氏に師事、現在中央学

院の専任教諭となられ、都高等学校吹奏楽連盟の理事として、若い管楽器奏者の指導に当たっておられます。

新交響楽団のあゆみ

東京労音発足後、1年半を経た昭和31年2月、会員有志によってアンサンブルを結成、練習2ヶ月にして早くも地域の集いに出演、以後労音サークル、地域の集いに数多く出演する傍ら、団員募集によって、メンバーも増え昭和32年、芥川さんを指揮者に迎え東京労音新交響楽団と改名規約運営体制を強化する中に練習曲も大曲に取組むようになった。昭和32年11月合唱団との協演で、第1回定期演奏会を行ない毎年1回定期演奏会を開き第5回定期演奏会を迎えることになった。その他「地方労音例会」、「日本のうたごえ」等に出演し深い感動を与えている。

第3回定期演奏会後、団員数も多くなり、練習曲等の問題から、第一オーケストラを公演第一の練習方法とし。第二オーケストラを練習第一の練習方法に分離し、二つのオーケストラ独自の活動する迄に発展し、誰れでも参加出来る体制がつくられている。

東京労音吹奏楽団の生い立ち

- (1) 昭和36年1月24日6時設立準備会
出席者新響管楽器グループを中心に10名
- (2) 昭和36年1月28日6時(渋谷金属会館)結成式及第1回練習、芥川也寸志指揮参加者29名
- (3) 以後毎週月曜渋谷練習場にて6時30分より定期練習会費月額百円、参加資格楽器演奏経験と楽器を持って居る方
- (4) 昭和36年6月25日、第8回労音総会初出演、指揮斎藤好司、参加者65名
以来定期練習を積み現在に至る。

労音吹奏楽団団員募集中

今年1月労音会員による吹奏楽団が結成され新団員募集中です。トランペット、クラリネット、トロンボーン、アルトバリトン、小バス、小太鼓等で楽器は各自持参です。申込資格は別に問いませんがとにかく当日練習会場にお越しになって、あなたの入団をお決め下さい。会場は渋谷全国金属会館、毎月曜PM6時半から、会費1ヶ月百円、現在の主な練習曲目はウィスターナ・スラブ・マーチ、チャイコフスキー他

お問い合わせは労音事業部迄(291) 5928